



中央会事業より

組合役職員事務セミナーを開催 ～年度末の事務処理等について～

3月19日(火)、秋田市の秋田キャスルホテルにおいて、「組合役職員事務セミナー」を開催し、会員組合等から70人が出席しました。

セミナーでは、税理士の磯崎悠耶氏から、『年度末の決算処理と税務申告について』と題し、事業年度末における決算関係書類の作成や税務申告等の諸届出と「中小会計要領」のほか、平成23年12月改正の減価償却制度は、演習を交えて解説していただきました。

また、本会職員からは、登記及び届出等の諸手続とその要点について説明を行いました。年度末の事務処理等につきましては、折り込みの事務手続一覧をご覧ください。



【セミナーの様子】

支援団体活動レポート

日本語作文発表コンクールを開催 ～秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会～

3月9日(土)、秋田市のアキタパークホテルにおいて、秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会(佐賀善美会長 15会員)主催の「秋田県外国人技能実習生日本語作文発表コンクール」が開催され、県内の縫製企業で技能実習に取り組んでいる中国人実習生から、日本人の礼儀正しきや日本の食文化など、日頃の生活で感じている事などについて作文発表が行われました。

初の開催となる今回は、応募総数19点の中から一次選考を通過した9名が作品を発表後、審査員として本会の高橋清悦専務理事や株式会社秋田魁新報社の鐘隆千代論説委員長等が審査を行った結果、曹云麗(ツアオ ユンリー)さん(能代山本繊維協同組合)が最優秀賞を受賞しました。このほか、優秀賞2名、優良賞3名、奨励賞3名が決定し、それぞれに表彰状が手渡されました。

佐賀会長からは、「コンクールに参加することにより、実習生の日本語能力についてレベルアップが図られた他、受入企業とのコミュニケーションも深められた。今後も、継続していきたい。」と抱負を述べられました。



【佐賀会長(左)と最優秀賞の曹さん】

通常総会・研修会を開催 ～秋田県中小企業団体事務局協議会～

3月12日(火)、秋田市のパーティギャラリーイヤタカにおいて、秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長 44会員)の平成25年度通常総会と研修会が開催されました。

通常総会では、平成24年度の事業報告及び収支決算が承認されたほか、平成25年度事業計画、収支予算が原案どおり満場一致で可決決定されました。

引き続き研修会が行われ、「秋田アクション問題を考える会」代表の佐藤光幸氏を講師に、「知っていますか？依存症」と題して講演が行われました。

同氏からの、「アルコール依存症やギャンブル依存症は脳の神経細胞にダメージを与え、その修復は困難である。」など事例を交えての講話に、日常生活に潜む依存症に陥る可能性等について、参加者一同改めて認識させられました。



【研修会の様子】

■「みそ健康セミナー」を開催

3月5日(火)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県味噌醤油工業協同組合(浅利滋理事長)主催の「みそ健康セミナー」が開催され、約530名が聴講しました。

同セミナーは、身近な食材である味噌を見直すPR活動の一環として、味噌と健康を主なテーマに平成8年から毎年開催。今回は、アンチエイジングレストラン「リール」代表の堀知佐子氏を講師に、「みそでアンチエイジング」と題して講演が行われました。

同氏からは、「ご飯に味噌汁という和食の基本は、栄養素のすべてを補えるいい食事である」など味噌に含まれる栄養分やアンチエイジング効果等が紹介されました。

同組合のホームページでは、過去に開催されたセミナーの様子が紹介されていますので是非、ご覧ください。

【お問合せ】秋田県味噌醤油工業協同組合 ☎018-823-7141

ホームページ <http://www.chuokai-akita.or.jp/misosyoyu/seminar/seminar.htm>

～秋田県味噌醤油工業協同組合～



【セミナーの様子】

■鹿角市花輪の3商店街が「鍋の陣」を開催

3月20日(水)、鹿角市花輪の商店街で、「AKB(あきた鹿角美食) イベント鍋の陣」が開催され、地場産食材をふんだんに使用したオリジナルの鍋料理が買い物客等に無料で振る舞われました。

「鍋の陣」は3商店街が連携して開催、買い物客が三種類の鍋料理を食べ比べ、お気に入りの鍋一点を選んで投票してもらうイベント。鹿角市花輪大町商店街振興組合の「絶品! 春鶏巨柔鍋」、鹿角市花輪新町商店街振興組合の「まぼろしの鹿角牛ホルモン鍋」、かづの花通り商店街振興組合の「激ウマ! ぽかぽか鶏ショウガ鍋」が出品、投票の結果、「絶品! 春鶏巨柔鍋」が優勝しました。

また、商品券が当たる抽選会も開催されるなど、会場は終日大いに賑わいました。



【イベントの様子】

■再生可能エネルギーの発電設備として国が認定 ～能代森林資源利用協同組合～

能代森林資源利用協同組合(石郷岡一男理事長)は、平成12年のダイオキシン対策のための「廃棄物処理法」改正に対応するため、平成13年7月に米代川流域の製材業者等6社によって設立、事業協同組合としては全国で初めてバイオマス発電事業を実施し、森林資源の循環利用に取り組んでいます。

発電事業は、組合員から受け入れる樹皮や端材等を燃料としており、産出した電力や蒸気は組合員に販売するほか、余剰分については東北電力株式会社に売電しています。

平成24年7月1日に、再生可能エネルギー源(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス)を用いて発電された電気を、国が定める固定価格で一定の期間電気事業者へ調達を義務づける「再生可能エネルギー特別措置法」が施行されました。

当組合でも、固定価格買取制度の適用を受けるため、経済産業省に対して組合が所有する発電設備について認定を申請していたところ、本年2月27日付けで認定されました。今後は売電収入アップによる安定経営が見込まれると期待しています。



【燃料になる端材等】



【発電プラント】

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度とは?」

再生可能エネルギーは、他の電源と比べて設置コストが高く、そのままではなかなか普及が進まないため、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスによって発電者が発電した電気を、電力会社に一定の期間・価格で買い取ることを義務付けることで、再生可能エネルギーの導入を促していくという取組です。

平成25年度本会通常総会開催(予定日)のご案内

日時 平成25年6月6日(木) 午後3時30分から
 場所 秋田市 ホテルメトロポリタン秋田(秋田市中通七丁目2-1)
 ※ 開催日は、4月以降に開催される理事会で正式決定となります。

本県より4名合格 ～中小企業組合検定試験合格者発表～

昨年、12月2日(日)に行われた平成24年度中小企業組合検定試験の合格者が3月1日発表され、本県からは、次の4名が合格されました。おめでとうございます。(五十音順・敬称略)

- 伊藤 真奈美 (本荘由利電気工事協同組合)
- 佐藤 ひとみ (秋田県印刷工業組合)
- 三浦 桂子 (秋田県家畜商業協同組合)
- 水澤 綾香 (秋田県生コンクリート工業組合)

※ 本試験に合格し、組合等で3年以上の実務経験を有する方は「中小企業組合士」として認定されます。中小企業組合士は、事業協同組合等の運営エキスパートとしての公的資格で、本県では、71名(平成25年3月31日現在)が組合事務局や商工中金等で活躍しています。

中小企業組合士・中小企業組合検定試験については、本会企画広報課(☎018-863-8701)までお問い合わせ下さい。

金融円滑化法期限到来に伴う説明会が開催

3月13日(水)、秋田市の秋田第2合同庁舎において、秋田財務事務所主催による中小企業金融円滑化法の期限到来に伴う説明会が開催され、本会からは平澤孝夫常任理事が出席しました。

説明会では、東北財務局大橋達郎金融監督官より金融円滑化法の終了に向けた取り組みや中小企業支援等について意見交換が行われました。

経営者からは、「円滑化法自体が末端まで周知がなされていない」との意見が多く出され、本会からは、経営計画の作成支援件数の急増と再生支援協議会本来の業務への影響の懸念等の意見を述べました。

大橋金融監督官は、「中小企業等金融円滑化相談窓口」の設置を始め、中小企業者に対する国の取り組みのさらなる周知について述べられました。



【説明会の様子：大橋金融監督官(中央)】



組合ティールーム

協同組合秋田市民市場

副理事長 進藤 政弘 さん

(秋田県中小企業青年中央会 前会長)

○業界の現状について

当組合は、昭和37年に協同組合朝倉市民市場として発足。その後、現在の組合名に改称し、昨年設立50周年を迎えました。現在、61組合員で建物や駐車場の維持管理や生ゴミリサイクルなどの共同事業を行っています。市場の生ゴミは、大型処理機で発酵処理されて有機肥料に生まれ変わり、その肥料で育てたお米は「市場米」として販売しております。当組合としては、今後も、様々な「市場ブランド」の商品を開発して、秋田の玄関口である市民市場をPRし、集客に繋げていきたい。

その他には、本県が抱える高齢化や人口減少等の問題に対応するため、通信販売や宅配事業にも取り組んでいます。

当組合では、組合員企業の後継者や従業員等が所属する「若手会」という青年部組織があり、県外の市場との交流事業を中心に積極的に活動しています。「若手会」は秋田県中小企業青年中央会に加入し、県内をはじめ全国の青年部会員との交流を深めています。他の人の良いところを率先して取り入れ、近づこうと努力することで私達も成長していきたいです。

○座右の銘について

私の好きな言葉は、松下幸之助の名言の一つです。「希望を失うな。明日に夢を持って。夢を持つことが人生においてどんなに大切なことか。」というもので、どんなことも、あきらめたらそこで終わりですし、現状維持では、可能性が広がりません。仕事も趣味も、しっかりした目標や夢を持っている人は、目標のない人と比べると結果に明らかな違いが現れます。自分がそうありたいと思うと同時に、家族や仲間にも希望を持って力強く前進してほしいと願っています。

○趣味について

趣味は、旅行とスポーツ観戦ですが、ゴルフは自分でもプレーします。出かけるのが大好きで、旅先でゴルフや温泉などを楽しんでいます。



ハタハタ加工品製造業者の任意団体設立に向けて発起人会を開催

本会では、今年度のグループ創業バックアップ事業で、ハタハタ加工品製造業者の組織化を進めるため懇談会を3回に亘って開催し、5月中に活動団体の設立を目指して、3月25日(月)に第1回設立発起人会を開催しました。

発起人会には、設立発起人4人と県水産漁港課及び本会職員が参加。具体的な共同事業及び収支予算等について検討し、県外への積極的な共同宣伝を行い、会員企業の売上増加を図っていくことなどを決定しました。



【発起人会の様子】

起業活動活性化フォーラムが開催

2月28日(木)秋田市の秋田ビューホテルにおいて、秋田県農林水産部の主催による平成24年度「起業活動活性化フォーラム」が開催され、農産加工グループ等95名が参加しました。

フォーラムでは、企業組合等による活動事例発表や情報提供が行われたほか、本会からは、企業組合制度を活用した創業について紹介しました。

本会では、国の認定を受けた経営革新等支援機関として、「創業支援」、「経営状況の分析、事業計画策定支援」、「農商工連携コーディネート」等の支援を行っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

【お問合せ先】本会 工業振興課・商業振興課 ☎018-863-8701



【フォーラムの様子】

『企業組合とは』

個人が4人以上集まって1つの企業と同じように活動できる法人で、組合員となる個人が自ら職場を作り出すことを目的とした組織です。株式会社同様に利益を追求できますが、登録免許税が非課税であるため設立時の費用が安く抑えられたり、議決権が一人一票であるなどグループでの創業に適した制度です。

人事異動のお知らせ

【秋田県】(4月1日付)

産業労働部(商工関係)の転入出者は次のとおりです。

《転入》()は前職、〈 〉は派遣 敬称略

◎産業労働部

- 産業労働部部長待遇(兼)東京事務所長(企画振興部次長) 明石 直樹
- 産業労働部次長(産業政策課長) 岩澤 道隆
- 産業労働部新エネルギー政策統括監(港湾空港課長) 土谷 諄一
- 産業労働部課長待遇(兼)秋田発電・工業用水道事務所長(公営企業課政策監) 豊嶋 利之
- 産業労働部課長待遇(あきた企業活性化センター)(地域産業振興課主幹) 三浦 尚
- 産業政策課長(産業集積課長) 水澤 聡
- 産業政策課政策監(教育庁生涯学習課政策監) 永井 義之
- 産業集積課長(商業貿易課貿易振興監) 猿橋 進
- 商業貿易課長(産業政策課政策監) 永田 徹
- 商業貿易課貿易振興監(学術国際局課長待遇) 石川 聡
- 資源エネルギー産業課長(小坂町副町長) 赤川 克宗
- 資源エネルギー産業課政策監(雇用労働政策課主幹) 高橋 博英
- 雇用労働政策課長(東京事務所企画政策課長) 保坂 伸
- 公営企業課長(北秋田地域振興局総務企画部長) 飯塚 政範
- 公営企業課政策監(公営企業課主幹) 鈴木 靖彦
- 産業技術センター総務管理部長(資源エネルギー産業課政策監) 草薨 利健

- 産業技術センター電子光応用開発部主席研究員(産業技術センター先端機能素子開発部上席研究員) 森 英季
- 産業技術センター先端機能素子開発部長(産業技術センター電子光応用開発部上席研究員) 高橋 慎吾
- ◎産業政策課
 - 総合調整主幹(北秋田地域振興局総務企画部地域企画課長) 千田 克彦
 - 副主幹(地域産業振興課副主幹) 石川 定人
 - 副主幹(秋田県信用保証協会)(雇用労働政策課副主幹) 高橋 源悦
 - 副主幹(産業政策課主査) 熊谷 政広
 - 主査(秋田地域振興局総務企画部主査) 田仲 節子
 - 主査(議会事務局総務課主査) 増村 伸宏
 - 主査(産業政策課主任) 福岡 晃平
 - 主任(総務課主任) 斉藤 友秀

◎地域産業振興課

- 主幹(地域産業振興課副主幹) 石川 誠悟
- 副主幹(雄勝地域振興局農林部副主幹) 傳農 満
- 副主幹(医務薬事課副主幹) 工藤 秀勝
- 副主幹(あきた企業活性化センター)(交通政策課副主幹) 佐藤 雅博
- 副主幹(地域産業振興課主査) 熊谷 健
- 主査(名古屋事務所主査) 干場 達和
- 主査(地域産業振興課主任) 佐藤 春樹
- 主査(同 主任) 佐々木優誠